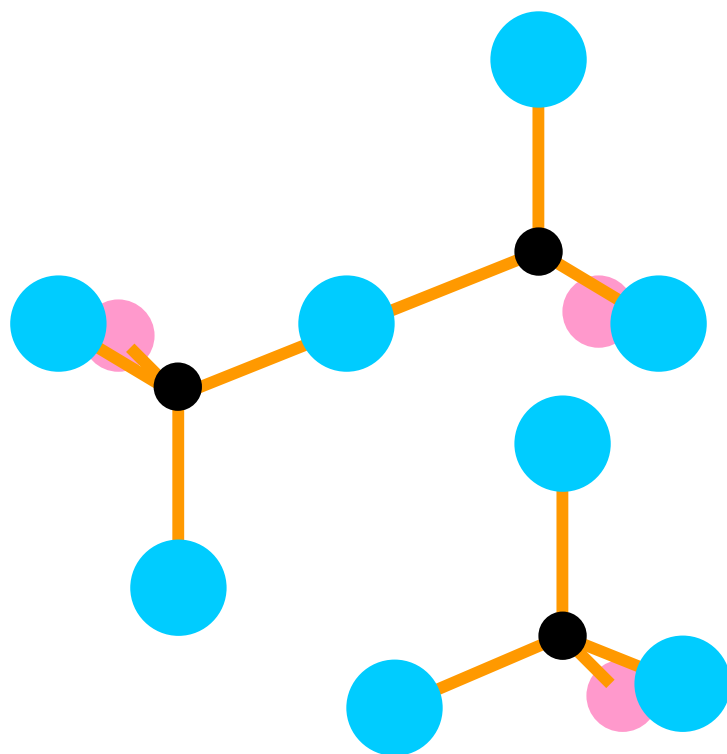


錠剤型の湿度調節剤

ドライ・ウェット®



商品の保存・保管のために



○ はじめに

- 最近、わが国において食料品・医薬品・光学品・美術品・骨董品・伝統工芸品等を保存する上で、希望する湿度を一定に保つ“調湿剤”のニーズが高まってまいりました。
- 日本活性白土株式会社が約40年にわたり、美術工芸品の保存用として「ニッカペレット」を製造・販売しておりますが、その湿度調節技術を利用して錠剤化したものです。
- いろいろな商品に「乾燥剤」や「脱酸素剤」等が使用されておりますが、ドライ・ウェットは「調湿剤」で乾き過ぎ、湿り過ぎでお困りの商品に必要な湿気を持たせ、保存期間の延長、商品の損傷の防止等にご利用いただければと考えております。

○ ドライ・ウェットとは

- モンモリロナイト(montmorillonite)という特殊な粘土を主原料としております。
- この粘土は化学処理によって、小さな粒子が無数の細孔をもった海綿状の多孔質物質になり、これにより物理的に自らの水分を出したり吸ったりします。
- 抗菌効果を持たせたことにより、いろいろな分野にご使用いただけます。
- シリカゲルに比べてヒステシス(吸湿水分と放湿水分の差が異なる)のないことも特徴です。
- 安定な無機物で毒性、腐食性はまったくありません。
- 商品の保存・保管の最適湿度に調湿して納入いたします。

○ ドライ・ウェットの化学組成・形状について

- 組成 : SiO_2 70 - 76 %, Al_2O_3 4 - 7 %, Fe_2O_3 1 - 2 %, MgO 1 - 2 %
CaO 1 % 以下, Ig. Loss 10 - 20 %.
- 形状 : 丸型、固形 $\phi 17.5 - 18.5 \text{ mm} \times$ 厚さ 5.5 - 6.5 mm
- 重量 : 1.8 g - 2.2 g / 1錠
- 添加物 : 銀系抗菌剤(ガラス抗菌性銀)
結合剤(馬鈴薯澱粉・局方仕様品)

○ ドライ・ウェットの有効なご利用のために

- 【ご使用容器】 気密性であることが必要です。
- 【使用法】 使い方は簡単です。気密性のある容器内に入れていただくだけでご使用になれます。
- 【関係湿度】 ご利用の商品によって「#〇〇のもの」とご指示下さい。
通常 #40, #50, #60の3種類があります。
#40はRH-35~45%品
#50はRH-45~55%品
#60はRH-55~65%品
上記3種類以外の調湿の場合はご相談下さい。
- 【使用量】 1L 容器 / ドライ・ウェット 1ヶ
- 【包装形態】 オレフィン系スパンボンド不織布の中にドライ・ウェット
1個を入れてあります。
- 【納入容器】 100個/1瓶 1,500個/1缶。

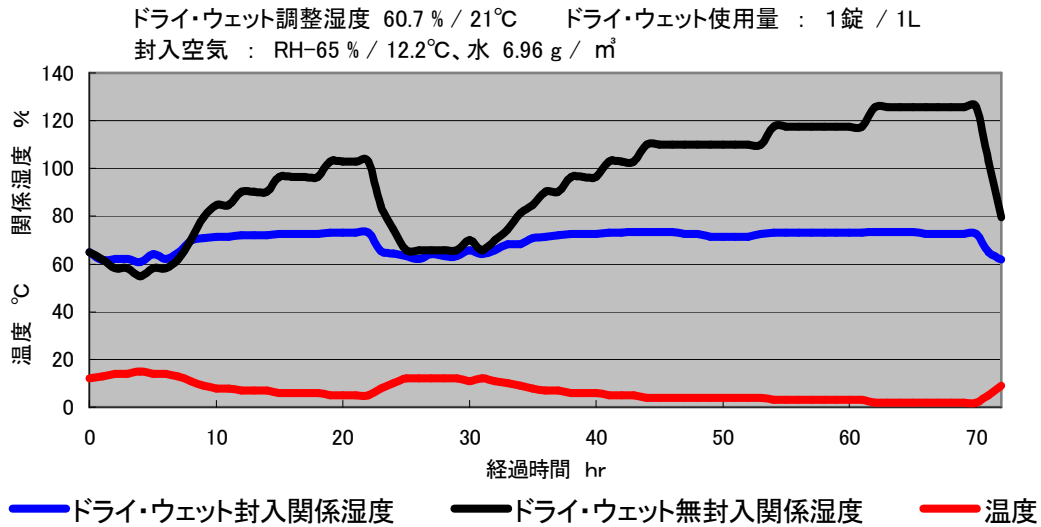
○ ドライ・ウェットの安全性について

！ ドライ・ウェットの錠剤を飲み込んだ場合…食道、消化器官などを傷つけることがありますので、医師の診断を受けて下さい。

！ 内容物は特殊な無害性粘土が主原料で不燃性です。
又、自然発火、引火性等はありません。

- 【廃棄上の注意】 廃棄の場合は各市区町村のルールに従って下さい。
- 【保管上の注意】 水濡れ、容器の破損に注意して下さい。
気密性の高い容器に入れて下さい。

○ ドライ・ウェットの調湿効果



※ 現在の生産品には、「DRY WET」の刻印はございません。

販売元

東新化成株式会社

東京都中央区日本橋本町4丁目5番15号
Tel. 03-3279-1623 Fax. 03-3279-1898